

うかうか三下、 ちよろちよろ十

「うかうかしを愛するもの」の初演・新編制作

井上ひさし作
鶴山仁 演出



板垣きんねる氏(東北の、とある田舎の村はずれ、と)
からとなく歌声が聞こえてくる。

休生のあらね

早月のつゆは
働き者の味方でも
しやれた女房と

馬鹿がさっばと
板垣がさっばと
つづかない……

……

白い花びらをつけた桜の水に映されたあばら裏にほり、
賢く美しい働き者の娘もた。

娘は「目惚れしたのさまは、お侍をお供に、桜の木
に隠れて様子をつかがっていい。

賢いけれどもお惚れしがらこのさまは、その思いを
なかなか告げることができない。

ひょんな事から、娘に近づくとおぼろげだが……
春、花を映かす鏡は何一つ変わらない桜の木の下の鏡り止
げられる、このさまによる悪夢のような二十年がはじまる。

昭和三十三年、井上ひさしは二十四歳。このとき、上智
大学に籍を置きながら、浅草のストリップ劇場フラン
ス館で文芸部員兼進行係として働き、NHKのラジオオ
ラマを書き、作家として長い道のりの第一歩を踏み出しま
した。同時に役者用として戯曲を何本も書き続け、この
年の文芸春秋社庶務本俵助賞を受賞しました。
それが「うかうか三下、ちよろちよろ十」です。
上演されることになった幻のデビュー作。井上雄平
ラックユキオアを、耳に心地よい東北弁にくるみこんだ、
初期作品ながら、井上エッセンス満載です。
後子鶴山仁演出、今案があく。

井上ひさし
二十四歳の
幻のデビュー作
いよいよ上演



井上雄平(このさま)



田辺沙枝(ちよろ)



菊池輝彦(早月)



田代裕吉(お惚れ)



小池謙三(お侍)

2013年6月9日(日) 開演 14時30分(開場は30分前)

川西町フレンドリープラザ

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松1037-1

入場料：S 席 6,000円
(PLA's会員 5,500円)
A 席 4,500円
青少年育成席 1,000円(25歳未満)
[全席指定・消費税込]

※青少年育成席はチケット引換券を販売、当日総合受付にて
指定席券と交換します。
年齢を確認できる資料とともに当日お持ちください。

プラザは
青少年を
応援します!

川西町フレンドリープラザでは、若いうちから「舞台芸術に
親しむ機会を増やしてほしい」という願いを込め、25歳未満の
方を対象に「青少年育成席」を行いました。井上ひさし24歳の
デビュー作を一観にお楽しみ下さい。

前売り開始日：4月5日(PLA's会員は4月2日)



〒999-0121
山形県東置賜郡川西町大字上小松1037番地1
川西町フレンドリープラザ
TEL (0238) 46-3311 FAX (0238) 46-3313
http://www.plaza-books.jp/
E-mail friendplaza@gmail.com

